

9月30日から12月2日の毎水曜日午後、全10回の「ドイツ語講座(入門)」を担当されたペートラ・バルムシュ先生に「杉並そして日本の印象」や「ドイツ語の学習」についてお話をうかがいました。(広報部Y)

●第一印象は、日本人的な雰囲気を受けました。

日本の「文化」に惹かれ、ベルリン自由大学で学ばれたのち「京都大学」に留学のため来日。京都では、日本文化の研究を進めるために精力的に活動し、寺院等のレポートは60以上に及んだそうです。最初にうけた印象はそのような経緯もあったのかもしれませんが。

●授業をちょっと参観しました。

「経験豊富なドイツ語講師から、楽しくドイツ語を学びませんか?」という交流協会の呼びかけで集まった10人ほどの生徒を前にテキパキと授業を進めていました。緊張感の中にも笑顔



ペートラ・バルムシュ先生

を絶やさず、和やかさもある充実感を感じました。ドイツ語の学習のポイントとして、辞書ばかりに頼らず自分の感覚で言葉を獲得していくことと、母音が日本語のそれに近い音なので、積極的に会話をしていくことが大切ということをおっしゃっていました。

その他、日頃の生活を通して気付かれた日本独特の事柄などをお話してくださいましたが、様々なことを楽しげにより意識的に捉えられ、日独二つの「文化」を丁寧に日々活かしていられるように感じました。

ネパール大地震 その後

Everest International School Japan (杉並区阿佐谷のネパール人学校)は2015年4月25日に起きたネパール大地震直後から募金活動を行ってきました。その後集まった募金をもとに、被害を受けた学校再建のためのプロジェクト“Build a Future Project”を立ち上げ、11月25日に2回目となる報告会をセシオン杉並で実施しました。報告会では、被害を受けた5つの地域から選ばれた小中学校5校の再建状況や、インドからの供給が絶たれたために起きている燃料不足、建材高騰などの問題も話されました。(杉並区交流協会 事務局)



プロジェクトの詳細内容については右記をご覧ください。http://www.eisj-edu.com/donation/build-a-future-project_jp.pdf

Event Information from SACE 交流イベント情報

◆ 交流協会からのお知らせ ◆

●異文化理解講座

「在北京ライターが語る中国の今、日本の今」日本に一時帰国中のライターが、最近の中国の現状や暮らしを、写真を交えて紹介します。◇日時: 2016年2月10日(水) 18:00~20:00 ◇会場: 杉並区交流協会(阿佐谷南1-14-2) ◇参加費: 200円

●外国人とのコミュニケーション講座

~英語ができなくても大丈夫! まずはやさしい日本語で~ 外国語を使わずに、やさしい日本語で外国人とコミュニケーションするための講座です。◇日時: 2016年2月15日(月) 18:00~20:30 ◇会場: セシオン杉並(梅里1-22-32) ◇参加費: 500円(会員300円)

●通訳ボランティアスキルアップ講座

語学ボランティアのスキルアップと更なる活躍の場を広げるための講座です。

◇日時: 2016年2月20日(土) 13:00~17:00 ◇会場: 高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) ◇参加費: 1500円(会員1000円) 以上3講座の申込・問合せ: 杉並区交流協会まで

◆ 国内交流自治体からのお知らせ ◆

●小千谷フェア

新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚沼産コシヒカリなどの販売 ◇日時: 1月31日(日)、2月28日(日)、3月19日(土)、11:00~13:30 ◇場所: 小千谷学生寮駐車場(井草4-16-23)

●青梅市観光物産展

青梅市の特産品販売と観光写真の展示 ◇日時: 物産展 2月22日(月)~23日(火) 10:00~15:00 写真展 2月22日(月)~26日(金) ◇場所: 区役所中杉通り側入口前・区役所1階ロビー

●小千谷市ふるさと市場

新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚沼産コシヒカリなどの販売 ◇日時: 3月14日(月) 10:00~14:00 ◇場所: 区役所中杉通り側入口前

●吾妻の朝市

群馬県東吾妻町の新鮮な農産物の販売 ◇日時: 3月24日(木) 10:00~13:00 ◇場所: 区役所中杉通り側入口前

●交流自治体合同物産展

「蚕糸の森まつり」に杉並区の交流自治体が集まり北海道名寄市の特産品販売 ◇日時: 3月27日(日) 10:00~15:00 ◇場所: 蚕糸の森公園 運動場(和田3-55-49)

問合せ: 区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111(代表)

売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買物袋)をご持参ください。

交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

- 年度会費
・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
・法人会員 20,000円/年
会員期間
入会の月から3月31日まで(当年度末)

- 会員特典
① イベントの情報や交流に関する情報紙 [交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など] をお届けします。
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
③ イベント参加費に会員割引があります。

- 申込方法
入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。



HP・Facebook 随時更新!!

杉並区交流協会

検索

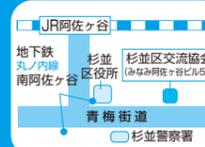
すぎなみ交流ニュース

第39号

2016年1月

Suginami Cultural Exchange News

수기나미 교류 소식
杉並的交流消息



会員になりませんか?
~詳細は裏表紙~



◆発行:杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

http://www.suginami-kouryu.org/

◆年4回発行◆協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。
この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。

2016 イベントのご案内



●第13回日本語スピーチ大会

Japanese Speech Contest



観覧者募集!

日本で暮らしている外国の方が感じたこと、体験したこと、出身国のことなどについて発表します。お話を聞きたい方はお気軽にご参加ください。発表して下さる外国人の方も募集しています。

【日時】2016年3月5日(土) 13:30~17:00

【場所】座・高円寺2(杉並区高円寺北2-1-2)

【募集人数】200名/参加費無料

【観覧希望】交流協会へ(1)氏名(ふりがな)(2)住所(3)国籍(4)電話番号(5)E-mailアドレス 又は Fax 番号を記入し、電話、E-mail、Fax にてお申込下さい。

発表希望者は、1月15日(金)までに申し込み書を交流協会へ送付してください。

●外国人のための無料専門家相談会

为外国人举办的免费专家咨询会
외국인을 위한 전문가 무료 상담회

Free Professional Consultation for Foreign Residents

年金・保険・税金に関わる問題・ビザ・結婚・離婚・仕事に関わる問題など、弁護士などの専門家が無料で相談をお受けします。秘密厳守。託児あり(要予約)。

【日時】2016年1月23日(土) 13:00~16:00 (受付は15:30まで)

【場所】セシオン杉並1階 展示室(杉並区梅里1-22-32)

【専門家】弁護士・行政書士・社会保険労務士・臨床心理士・税理士など

【通訳】英語・中国語・韓国語・タイ語・ネパール語・フランス語・ベンガル語・ポルトガル語

【申込み】当日会場へ直接お越しください。予約も可。

【問合せ・予約】杉並区交流協会へ



Free Professional Consultation for Foreign Residents

Scheduled once a year, various specialists consult on problems such as: status of residence, marriage, divorce, health issues, problems at work, educational issues, and other matters. Your privacy is secured and reservation is not required. Free babysitting is also available.

Date & Time: January 23, 2016 (Sat.) 1:00 - 4:00 p.m. [Registration closes at 3:30 p.m.]

Place: Sesión Suginami (1-22-32 Umezato, Suginami-ku) [5 minute walk from Higashi-Koenji Exit 1 (Tokyo Metro Marunouchi Line)]

Specialists: Lawyers, Administrative Scriveners, Labor and Social Security Attorneys, Clinical Psychologist, Certified Public Tax Accountant

Interpretation scheduled in: English, Chinese, Korean, Thai, Nepali, French, Italian, Bengali, Portuguese

Inquiry and Reservation: Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)

森と湖とサングラの国と、すぎなみ

12月5日 フィンランドフェア開催 於：高井戸地域区民センター

サンタの国で有名なフィンランドと杉並区に意外なつながりが…。高事務局長によれば交流協会の役割は「人と人、地域と地域をつなぐ」こと。今年のフェアはこの「つなぎ手」としての役割が際立った企画でした。

※日本に最も近いヨーロッパ

北極経由のフライトだと日本からヘルシンキまで9時間半。確かに近い。最初に坂根シルックさんからフィンランド紹介がありました。シルックさんは3歳から13歳まで日本で過ごし、20代に再来日して30年という方です。子育て中の十数年を杉並区で暮らした元区民でもあります。「2つの故郷がある」シルックさんならではの、生活者の立場に立った興味深いお話でした。



坂根シルックさん

フィンランドは独立から98年目。戦いが続いたがゆえに女性たちはいつも社会の第一線に立ってきました。それが「家庭でも会社でも女性が一人の人間として尊重される社会」の基盤につながっています。2013年には「世界一ママに優しい国」に選ばれました。家事も育児も夫婦で分担するのは当たり前。

フィンランド語には「ライバル」という言葉がありません。人と較べない。一人一人の個性を大切にすることでしょう。学校で生徒をランクづけすることはなく、「みんな仲良く」という教育もありません。オンとオフの切り替えを大切にするライフスタイルのお話も印象に残りました。

※循環型森林経営

フィンランドに工場をもつミサワホーム(杉並区高井戸)の力武直也さんからは、フィンランドの林業政策を含めたお話がありました。森林率をみると、1位はフィンランド(73%)、2位がスウェーデン(69%)、日本は僅差の3位(68%)です。日本でも一部地域が循環型森林経営を始めていますが、フィンランドの森林資源を使った再生可能エネルギーの取り組みから学べることが多いと感じました。



ミサワホームの皆さん

※音楽講座とワークショップ

日本フィルハーモニー交響楽団(杉並区梅里)の伊波睦さんと中川裕美子さんによる音楽講座と手拍子を使った「みんなで一つになる」ワークショップも好評でした。今年度は音楽で国を救ったシベリウス生誕150周年。坂根さんのお話でフィンランドの歴史をおさらいした後だったので、交響詩「フィンランディア」が作曲された時代背景の理解が深まりました。



知って楽しむ音楽講座&ワークショップ



フィンランドファンが増えたようです

※フィンランド文化・観光紹介

会場入口にはフィンランドの文化・観光紹介コーナーと関連グッズの販売コーナーが設けられ、女子美術大学(杉並区和田)からは美術館所蔵のフィンランドテキスタイルを会場に展示して雰囲気づくりにご協力いただきました。



女子美術大学所蔵のフィンランドテキスタイル



フィンランドの留学生も応援に駆けつけてくれました

区内のさまざまな人や組織を「つなぐ」ことで実現した企画に対して、「地域でこういう取り組みがあるのはすばらしい」という参加者からの励ましのコメントも寄せられました。次回が楽しみです。(広報部T)

交流自治体ワークショップ開催

11月6日(金)に、「第3回交流自治体担当者ワークショップ」を杉並区役所にて実施しました。名寄市・東吾妻町・小千谷市・北塩原村・南相馬市・青梅市・忍野村・南伊豆町の交流担当者が20名、杉並区役所若手職員が10名、杉並区内の活動者が10名参加しました。第1部は、交流協会事務局長・高和弘による講演でした。「地方創生の時代—都市と地方はいかに向き合うべきか」というテーマで、杉並を舞台とした地方創生のモデル作りを呼びかけました。第2部は、「どうすれば交流自治体の情報が杉並区民に届くのか」について、ワールドカフェを通じて対話を行いました。自分達のまちの魅力を発見して、一番のまちのファンになることが大切であることに改めて気づくワークショップでした。(杉並区交流協会 事務局)



交流担当者ワークショップ

第3回 まるごと台湾フェア開催

9月13日(日)
セシオン杉並

中学生の野球交流、高円寺阿波踊りの台北公演、台湾雑技団の高円寺公演など杉並区と交流を深めている台湾の魅力を紹介する「まるごと台湾フェア」も今年で3回目。今回はセシオン杉並で開催されました。セシオン杉並の中庭では、台湾料理、タピオカドリンク、台湾の珍しい調味料などの物品販売、ホールでは映画KANO上映会、展示室では片倉佳史さんの講演、温明儀さんの南管演奏、稲見公仁子さんの台湾映画紹介などの催しと、古写真でたどる日本時代の写真展等が行われました。食べて、見て、聴いて、と台湾の魅力を多面的に紹介する今回の台湾フェアには3,000名を超える方が参加。台湾をより身近に感じる一日になりました。(広報部K)

片倉佳史さん 「古写真でたどる日本時代の台湾」

50年間の日本統治時代の写真をもとに台湾を紹介。席がなくなるほどの大盛況。台湾再発見の1時間でした。



温明儀さん 「伝統音楽“南管”の演奏」

台湾出身の温明儀さんが歌劇と演奏を一人で表現。琵琶の音色が心にしみました。



映画 KANO の上映セレモニー



展示コーナー



特産品販売コーナー



屋台料理コーナー

↑KANOの主演で監督役 永瀬正敏さんとこれから台北に行く杉並中学生野球メンバーが舞台に。



游富雄さん

台湾フェアに来られた台湾の留学生の方から感想が寄せられました

台湾から東京に来たばかりで、台湾の事が脳裡を巡り、台湾の味も恋しくなっていた時期でした。美味しいターミー、タピオカミルクを食べて元気になりました。映画KANOは台湾で3回以上見て大ファンでしたので、永瀬正敏さんに会えて感動しました。台湾の留学生として、大勢の人がこのフェアに来て、台湾をもっと分かってくださったことを嬉しく、光栄に感じました。

人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に

すぎなみフェスタ 2015

11月7・8日開催、約7万9千人が訪れる

参加者の皆さんは、両日をメイン会場の桃井原っぱ公園(桃井3丁目)で、交流自治体の物産展、おいしいのれん街、そして工作づくりに参加するなど思いおもいにフェスタの企画を楽しみました。

また、メインステージのショーは会場を沸かせて、フェスタを例年以上に楽しく盛り上げていました。

今回で3回目を迎えたフェスタですが、回を重ねる毎に地域、区民に根付いてきているようです。



元気に“文化財”的衣裳で「北塩原村」PR



台湾雑技団の演技

交流協会では、「交流自治体物産展&国際ナショナルカフェ」を運営、暖かい飲み物や、各自治体の物産を販売しました。呼び声や笑い声が絶えず、盛況のうちに終了しました。(広報部Y)